

ドメイン名が関わるトラブルの実態

2026/1/23

山下健一（一般社団法人インターネットプロバイダー協会）

JAIPA概要 & 自己紹介

一般社団法人日本インターネットプロバイダ協会（JAIPA）について

主にインターネットプロバイダーからなる日本で唯一の業界団体です。

インターネット接続サービス(ISP) 事業者、クラウド・ホスティング事業者などのプロバイダ、上記に対してセキュリティや情報通信インフラ構築等の各種サービスを提供する事業者など、インターネット関連事業者で構成されています。

設立

1999年12月

会員数

153社（正会員150社 賛助会員3社）

サイト

<https://www.jaipa.or.jp/>

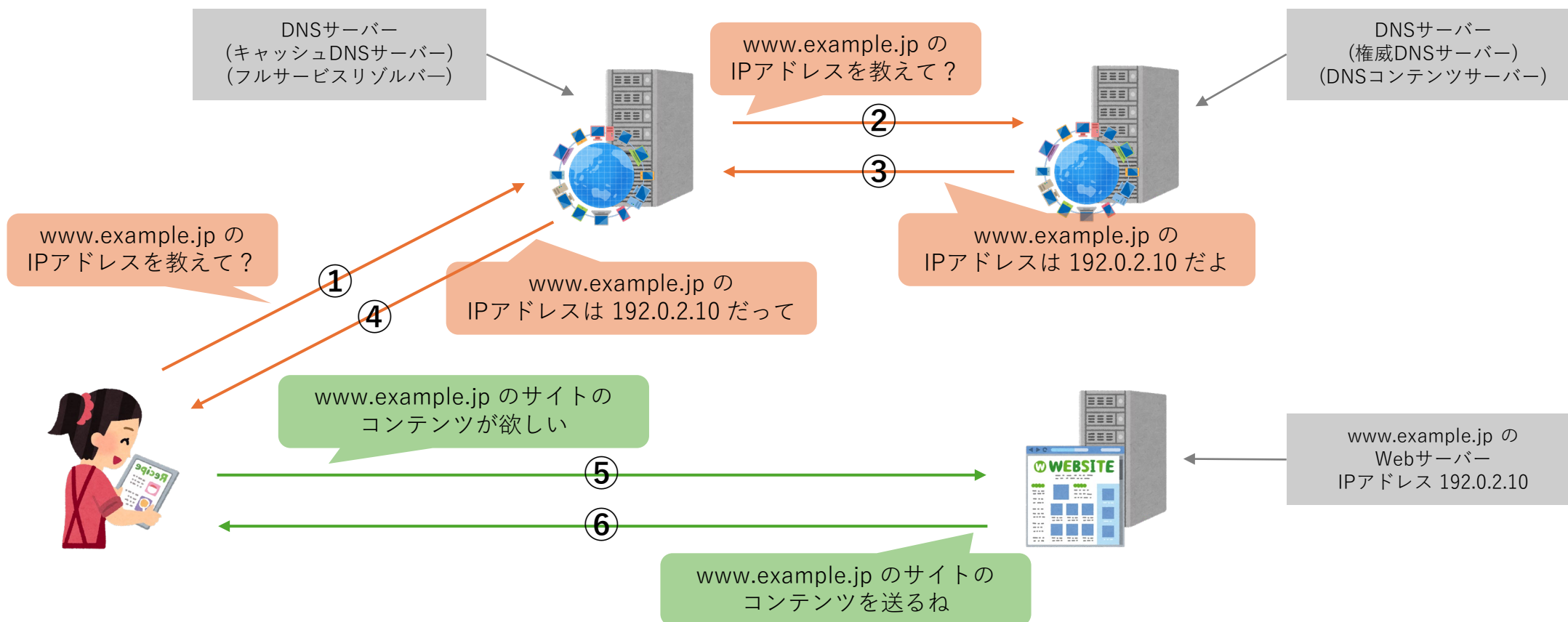
話者（山下健一）について

JAIPA行政法律部会副部会長

クラウド・ホスティング・データセンターサービスプロバイダにて、2004年よりインフラエンジニアとして業務に従事
サーバー構築・仮想化ホスティングサービス開発運用等に従事したのち、2016年よりインターネットのトラブルに対応する「abuse窓口」の業務を担当

はじめにードメイン名とウェブサイト

※下図は少しでも簡略化しています。



ドメイン名とウェブサイトの性質

ドメイン名・ウェブサイトを運営する人

- ドメイン名の設定とウェブサイトの設定は別々であることが分かりにくい
- ウェブサイトの問題は視認できて気づきやすい
他方で、ドメイン名の問題（設定のミス等）は原因特定が難しい

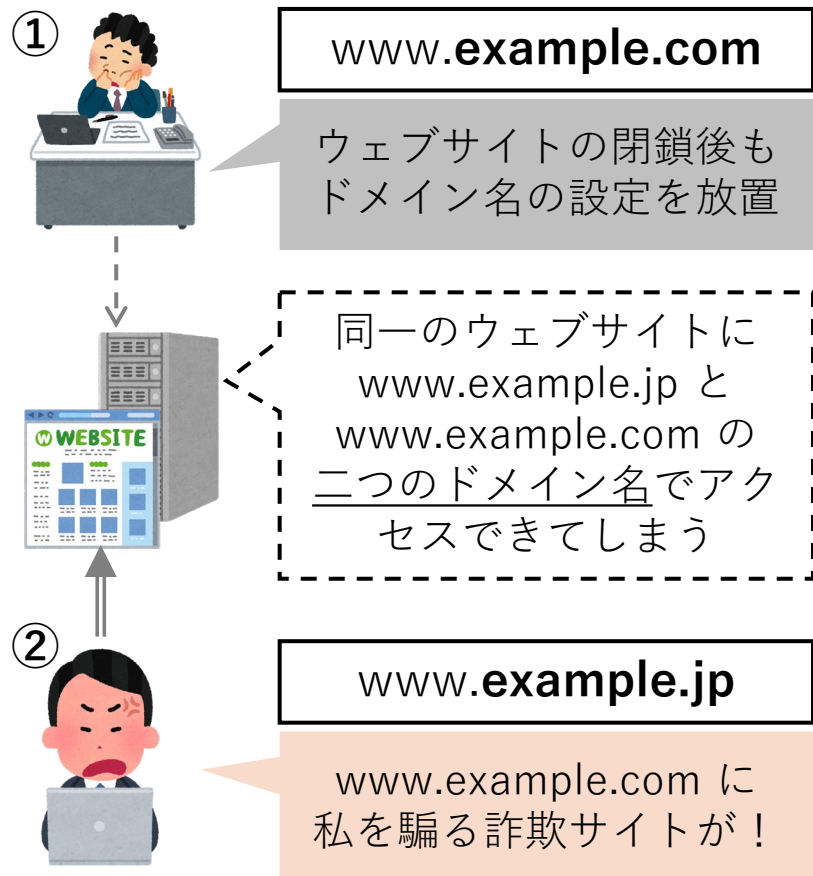
ウェブサイトを開覧する人

- ドメイン名とウェブサイトの区別がつかない
- ドメイン名の問題と、ウェブサイトのコンテンツの問題は伝える先が違うことを知らない
レジストラ・レジストラント・ウェブマスターの違いを知らない
- 「名前解決」「IPアドレス」を知らない、URLも知らない場合がある



ドメイン名・ウェブサイト運営で発生する問題（１）

ドメイン名の設定を放置すると「権利を侵害している」と苦情を受ける場合がある



ウェブサーバーのIPアドレスが再利用されて、
「サブドメインテイクオーバー」が発生した状態

- 被害者は図① www.example.com ?
(サブドメインテイクオーバーを受けた人?)
- 被害者は図② www.example.jp ?
(サブドメインテイクオーバーをした人?)

図① www.example.jp の運営者の認識

- 検索エンジンで www.example.com が上位に出る！
- 私のサイトのコピーだ、著作権・商標権の侵害だ！
- www.example.com は詐欺サイトだ！
- サイバー攻撃だ、はやく警察に相談しないと！

ドメイン名・ウェブサイト運営で発生する問題（2）

レジストラ・ホスティング事業者を騙るフィッシング詐欺が増えている

親愛なる お客様へ

残念ながら、あなたのドメイン [example.jp] を更新できませんでした。

これは、カードが期限切れになったか、請求先住所が変更されたなど、さまざまな理由で発生する可能性があります。

ここでお支払い情報を更新してください。

<http://phishing-site.example.com/example.jp/id=info@example.jp>

私たちは72時間以内にあなたからの応答を受信しない場合は、ドメインをロックします。

宜しくお願いします、

© EXAMPLE Hosting Inc.

しばしば見受けられるパターン

- ドメイン名の期限切れを騙る
- メールボックスの容量あふれを騙る
- サーバーのメンテナンス通知を騙る

発生する被害

- ドメイン名のゾーンが改ざんされる
- 契約サービスが改ざんされる
（ドメイン名・サーバーが追加される）
- フィッシングサイトが設置される
フィッシングメールが送信される

アカウントは多要素認証で保護しよう！

ドメイン名・ウェブサイト運営で発生する問題（3）

誰かのドメイン名に少しでも似ていると苦情（商標権侵害など）を受けてしまう

- 「ドメイン名の文字列が似ている」というだけで苦情（商標権侵害、サイバースクワッシング）が来ってしまう
- アメリカ・ヨーロッパには削除請求(removal request)や停止要請(takedown request)の発出を業として担っている事業者が居る
- レジストラ・プロバイダから苦情が取り次がれてきた場合には、しっかり反論すること

公開しているコンテンツは安全か？

- UGC（ユーザー投稿コンテンツ）を運営すると、削除要請を受けることになりやすい
- 苦情がレジストラから取り次がれて届く場合があるので、レジストラからの連絡は必ず確認すること
- 「深刻なコンテンツ」の場合、72時間～96時間など、短い期限が設定される場合がある

ドメイン名・ウェブサイト運営で発生する問題（４）

顧客・ユーザー・サイト閲覧者が詐欺被害にあったらどうする？

- コンシューマー向けの製品・サービスを提供している場合、ブランドホルダーはフィッシング詐欺やEC詐欺のターゲットになる
自組織のブランドがフィッシングやEC詐欺のターゲットにされてしまった場合はどうする？
- サイトを閲覧するユーザーを保護するために、プロバイダに対して「テイクダウンリクエストを送る方法」を知っておく必要が出てきてしまっている
- フィッシング対策協議会の「フィッシング対策ガイドライン」に一度目を通しておく和良好的
- 自社製品・サービスのEC詐欺サイトを作られてしまったとして、とりあえず「フィッシングの削除要請を参考にして要請する」と停止してもらえる場合もある



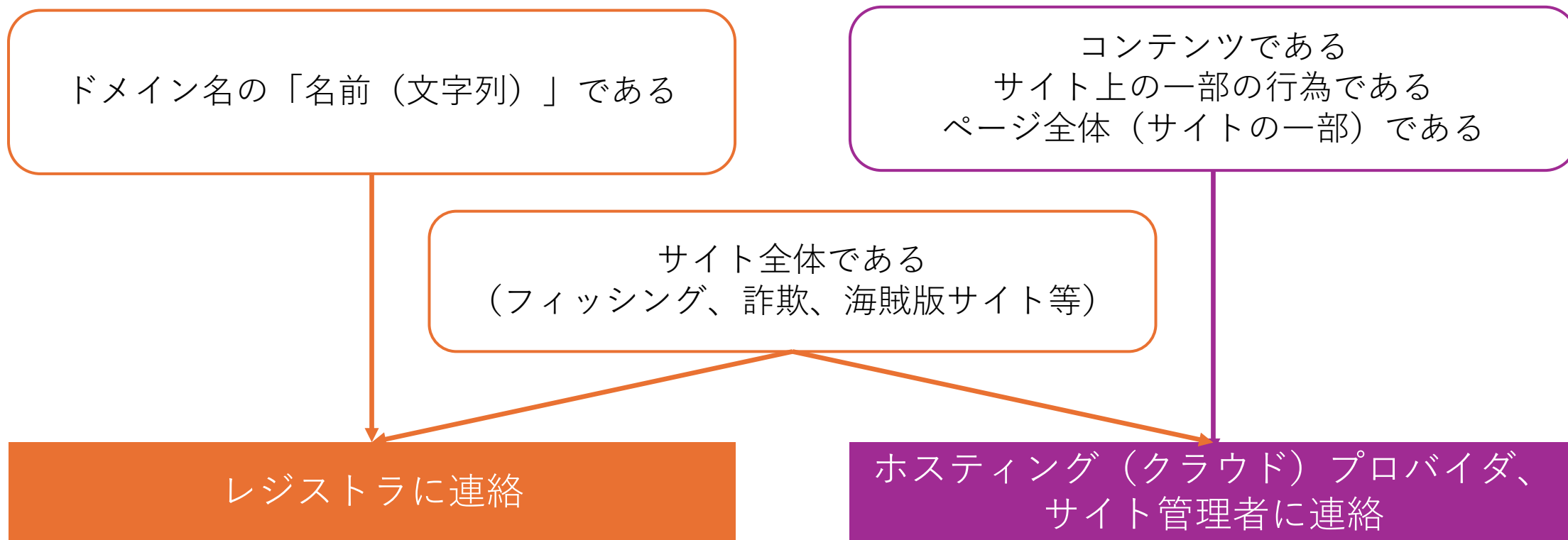
プロバイダへの トラブル連絡方法の基礎

2026/1/23

山下健一（一般社団法人インターネットプロバイダー協会）

連絡先の切り分け - 問題はドメイン名か、コンテンツか

問題が（権利侵害、詐欺、サイバー攻撃、迷惑行為が）



多くの場合は、ホスティング（クラウド）プロバイダに連絡することになります。

本来ホスティングプロバイダに宛てるべき連絡が多数、レジストラに舞い込んできてしまっているようにも聞きます。

ホスティングプロバイダの連絡先を探す（１）

ホスティングプロバイダの連絡先を探すためには、初めに、ウェブサイトのIPアドレスを調べる必要があります。

基本的な調査方法は、Windowsの場合、コマンドプロンプトでnslookupコマンドを使うことです。

「権限のない回答」と表示されますが、キャッシュDNSサーバーが回答していることを示すもので、異常ではありません。

インターネット上には、URLやドメイン名を入力することでIPアドレスを調べることができるサービスもあります。

「基本的な方法」を知った上で、便利なサービスを上手く使うと良いです。

SNSや掲示板で「このサイトはあのプロバイダにあると聞いた」は、やめましょう。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.26200.7462]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\yamashita>nslookup www.nic.ad.jp 1.1.1.1
サーバー : one.one.one.one
Address: 1.1.1.1

権限のない回答:
名前: www.nic.ad.jp
Addresses: 2001:dc2:1000:2006::80:1
           192.41.192.145

C:\Users\yamashita>
```

ホスティングプロバイダの連絡先を探す（2）

The screenshot shows the ICANN Lookup website. At the top, there are language options: العربية, 简体中文, English, Français, Русский, and Español. Below this is the ICANN LOOKUP logo. The main heading is "Registration data lookup tool". There is a text input field containing "192.41.192.145" and a blue "Lookup" button. Below the input field, there is a disclaimer: "By submitting any personal data, I acknowledge and agree that the personal data submitted by me will be processed in accordance with the ICANN Privacy Policy, and agree to abide by the website Terms of Service and the registration data lookup tool Terms of Use." Below this, there is a link to "https://www.icann.org/en/accredited-registrars". The main content area is titled "IP Network Information" and contains the following details: Handle: 192.41.192.0 - 192.41.192.255, Status: active, Address Range: 192.41.192.0 - 192.41.192.255, IP version: v4, Name: JPNICNET-CIDR-BLK-JP, Country Code: JP, Whois Server: whois.apnic.net, and a "Dates" section with "Last changed: 2023-06-20 01:26:02 UTC".

<https://lookup.icann.org/en/lookup>

IPアドレスが得られたら、ICANN LOOKUPで検索(Lookup)を試みます。

ICANN LOOKUP では、IPアドレスの管理者（割振り・割当て）情報を調べることができます。

gTLDのレジストラの情報を調べることもできます。

「一番最初は、ICANN LOOKUP で調べる」と覚えてください。

「whoisで調べる」は正しく理解されていない様子を受け止めています。ほとんどの人は「whois（IPアドレス・ドメイン名の登記簿の写し）の**コピー**」を見ている。

ホスティングプロバイダの連絡先を探す（2）

Administrative:

Handle: JNIC1-AP

Name: Japan Network Information Center

Email: hostmaster@nic.ad.jp

Phone: +81-3-5297-2311

Fax: +81-3-5297-2312

Kind: group

Mailing Address: Uchikanda OS Bldg 4F, 2-12-6 Uchi-Kanda, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0047, Japan

Abuse:

Handle: IRT-JPNIC-JP

Name: IRT-JPNIC-JP

Email: hostmaster@nic.ad.jp

Phone: +81-3-5297-2311

Fax: +81-3-5297-2312

Kind: group

Mailing Address: Uchikanda OS Bldg 4F, 2-12-6 Uchi-Kanda, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0047, Japan

Remarks:

hostmaster@nic.ad.jp was validated on 2024-11-27

ICANN Lookup の結果から、Administrative（管理者情報）と Abuse（迷惑行為の連絡先）を探します。


Abuse 欄の Email が迷惑行為（公共における不適当なふるまい）の**連絡先メールアドレス**です。

実際は、"Administrative 欄の Name" と "Report Abuse" のキーワードをウェブ検索し、連絡用ウェブフォームを探し、連絡すると、最も早く対応してもらえる傾向があります。

メールは自由に件名を設定でき、フリーテキストです。
プロバイダの中のabuse窓口担当は、メールの振分けに苦労しています。

<https://lookup.icann.org/en/lookup>

JPドメイン名の場合・日本のIPアドレスの場合



jPRS jprs.jpに戻る

WHOIS English BACK

このWHOISサービスはJPRSが提供するドメイン名登録情報検索サービスです。

ご利用にあたっては、以下の文書をご覧ください。

- JPドメイン名登録情報等の公開・開示に関する規則
- gTLD等ドメイン名登録情報等の公開・開示に関する規則
- JPRS WHOIS ご利用ガイド

WHOISについての一般的な説明は「Whoisとは?」をご覧ください。

検索タイプ 検索キーワード

ドメイン名情報 nic.ad.jp 検索 検索方法

Domain Information: [ドメイン情報]

a. [ドメイン名]	NIC.AD.JP
e. [そしぎめい]	いっぽんしゃだんほうじんにほんえっとわーくいんふぉめーしょんせんたー
f. [組織名]	一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
g. [Organization]	Japan Network Information Center
k. [組織種別]	ネットワーク管理組織
l. [Organization Type]	Organization of Network Administration
m. [登録担当者]	SS54384JP
n. [技術連絡担当者]	HK8068JP
n. [技術連絡担当者]	KE2134JP
n. [技術連絡担当者]	YK11438JP
n. [技術連絡担当者]	NH27225JP
n. [技術連絡担当者]	KG13714JP
p. [ネームサーバ]	ns3.nic.ad.jp
p. [ネームサーバ]	ns5.nic.ad.jp
s. [署名鍵]	61114 8 2 (

[状態]
[ロック状態]
AgentChangeLocked

<https://whois.jprs.jp/>



JPNICはインターネットの円滑な運営を支えるための組織です

ホーム | ? Q&A | サイトマップ | アクセス | A A | EN

JNIC 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター Japan Network Information Center

WHOIS 検索 サイト内検索 WHOISとは? JPNIC WHOIS Gateway

WHOISを検索(サイト内検索の場合は上記ボタンで切り替え)

JPNIC IPアドレス・AS番号 JPNIC会員

トップページ > WHOIS 言語を選択

JPNIC WHOIS Gateway English Page

注意事項

JPNICのWHOISではドメイン名関連の情報は検索できません。JPRS WHOIS をご利用ください。

利用については、WHOISとはのページもご覧ください。

検索方法や検索結果の見方の解説は以下のページをご参照ください。

1. JPNICのWHOIS検索へのアクセス方法
2. JPNICのWHOISにおけるIPアドレス検索方法
3. JPNICのWHOISにおけるAS番号検索方法
4. JPNICのWHOISにおける担当者情報・担当グループ情報検索方法

IPアドレス/AS番号など

検索

検索タイプを一つ選択してください。

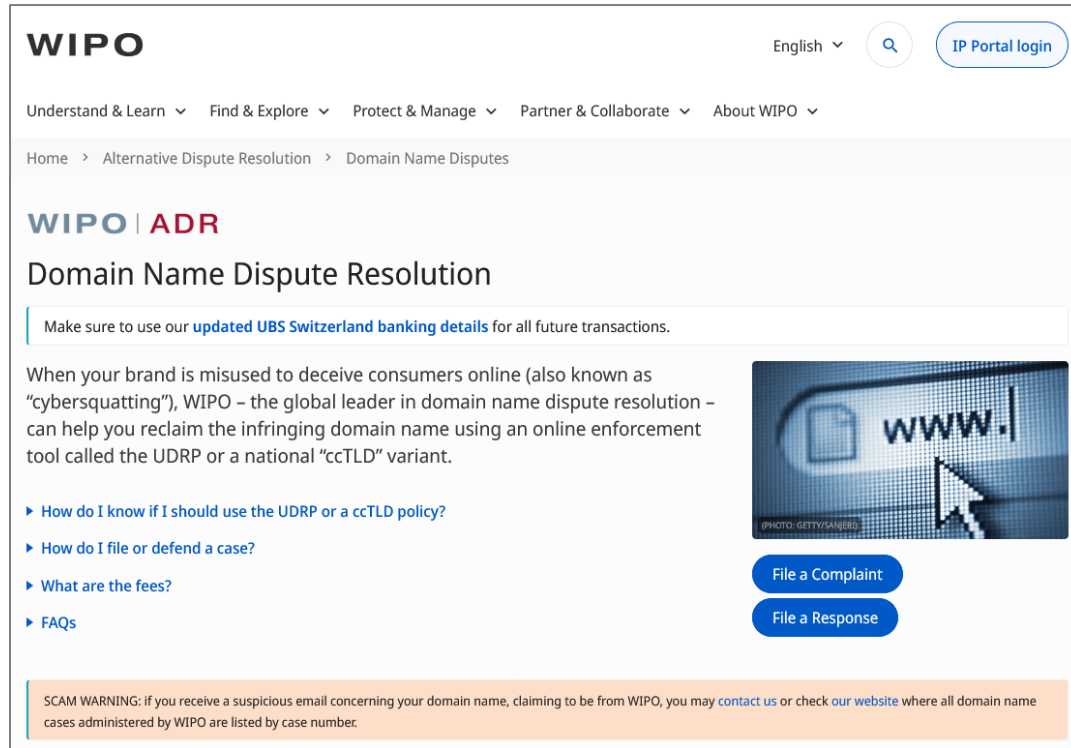
選択 種類 入力例

当サイトではフォントサイズの記録とアクセス解析にクッキーを利用しています。 わかりました

<https://www.nic.ad.jp/ja/whois/ja-gateway.html>

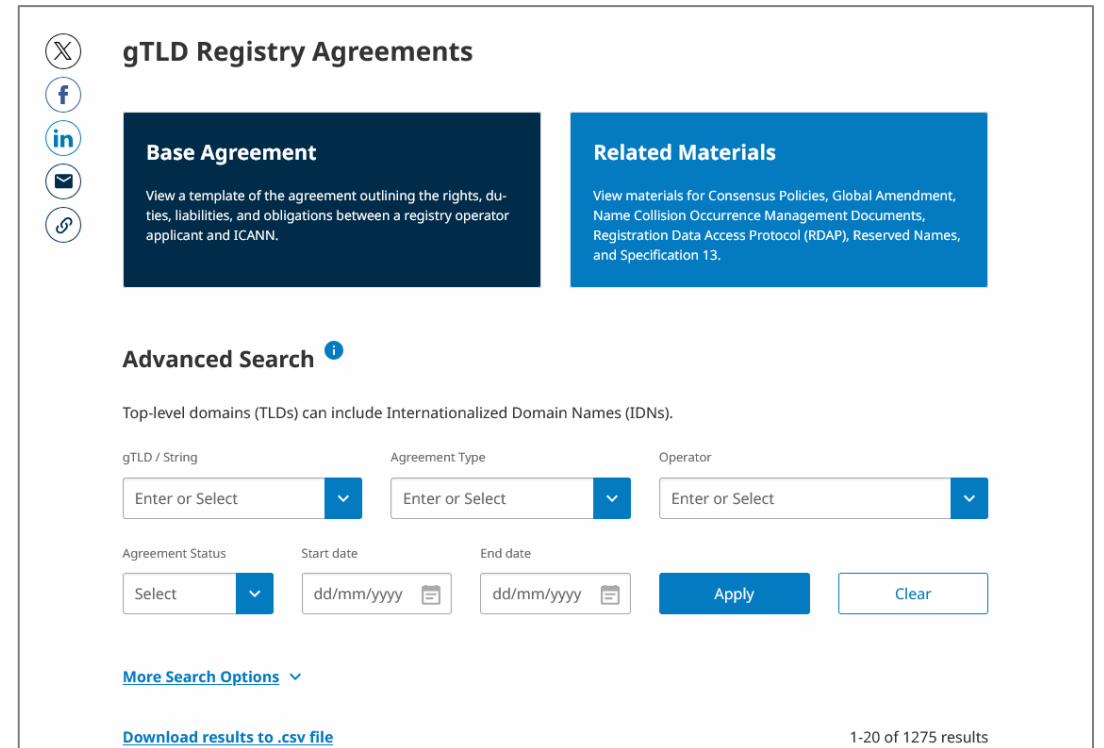
JPドメイン名はJPRS whois,
日本のIPアドレスの場合は JPNIC WHOIS Gateway で調べます。

見慣れないドメイン名・ICANN Lookup で確認できない時は…



The screenshot shows the WIPO ADR website. At the top, there's a navigation bar with 'WIPO' logo, language selector (English), search icon, and 'IP Portal login'. Below it are menu items: 'Understand & Learn', 'Find & Explore', 'Protect & Manage', 'Partner & Collaborate', and 'About WIPO'. The breadcrumb trail reads 'Home > Alternative Dispute Resolution > Domain Name Disputes'. The main heading is 'WIPO | ADR Domain Name Dispute Resolution'. A notice states: 'Make sure to use our [updated UBS Switzerland banking details](#) for all future transactions.' The main text explains that WIPO helps reclaim infringing domain names using UDRP or national ccTLD variants. It includes links for 'How do I know if I should use the UDRP or a ccTLD policy?', 'How do I file or defend a case?', 'What are the fees?', and 'FAQs'. There are two buttons: 'File a Complaint' and 'File a Response'. A small image shows a computer screen with 'www.' and a cursor. A SCAM WARNING at the bottom states: 'if you receive a suspicious email concerning your domain name, claiming to be from WIPO, you may [contact us](#) or check [our website](#) where all domain name cases administered by WIPO are listed by case number.'

<https://www.wipo.int/amc/en/domains/>



The screenshot shows the ICANN gTLD Registry Agreements page. It features a sidebar with social media icons (Twitter, Facebook, LinkedIn, Email, RSS) and a main content area. The main heading is 'gTLD Registry Agreements'. There are two main sections: 'Base Agreement' and 'Related Materials'. The 'Base Agreement' section includes a description: 'View a template of the agreement outlining the rights, duties, liabilities, and obligations between a registry operator applicant and ICANN.' The 'Related Materials' section includes a description: 'View materials for Consensus Policies, Global Amendment, Name Collision Occurrence Management Documents, Registration Data Access Protocol (RDAP), Reserved Names, and Specification 13.' Below these is an 'Advanced Search' section with a help icon. It states: 'Top-level domains (TLDs) can include Internationalized Domain Names (IDNs).' There are three dropdown menus for 'gTLD / String', 'Agreement Type', and 'Operator', each with 'Enter or Select' text. Below these are two date fields for 'Start date' and 'End date', both with 'dd/mm/yyyy' format and calendar icons. There are also 'Agreement Status' dropdown, 'Apply' button, and 'Clear' button. At the bottom, there are links for 'More Search Options' and 'Download results to .csv file'. The page footer shows '1-20 of 1275 results'.

<https://www.icann.org/en/registry-agreements>

見慣れない & ICANN Lookup で確認できないドメイン名は、ccTLD（国別トップレベルドメイン）の可能性があります。WIPO（世界知的所有権機関）の”Domain Name Dispute Resolution”のページから、ccTLDの「レジストリ」を調べます。gTLDの「レジストリ」に連絡したい場合は、ICANN の “gTLD Registry Agreements” を検索します。

どうしたらいいの？－リクエストの伝え方

～フィッシングとは実在する組織を騙って、ユーザネーム、パスワード、アカウントID、ATMの暗証番号、クレジットカード番号といった個人情報を詐取する行為です～

フィッシング対策協議会
Council of Anti-Phishing Japan

Powered by Yahoo! JAPAN

検索

ニュース 報告書類 消費者の皆様へ サービス事業者の皆様へ フィッシング対策協議会について

HOME > 報告書類 > ガイドライン

ガイドライン

フィッシング対策協議会が公開している「フィッシング対策ガイドライン」は、フィッシングへの予防的な対策や、フィッシング被害にあった場合の対応を、ガイドラインとして整理したものです。フィッシング対策協議会の技術・制度検討ワーキンググループが作成し、年度ごとに内容を更新しています。

より多くの Web サイト運営者が、ガイドラインを参考にして対策に取り組むことで、インターネットを活用したサービス業界全体のフィッシング被害の対応レベルの向上を目指しています。

最新版ダウンロード

事業向け (PDF)

WEBサイト運営者におけるフィッシング対策、利用者を保護するためのフィッシング対策や被害を最小限に抑えるための手法などについて解説しています。また、フィッシング被害の迅速な検知方法や対処法、利用者への啓発活動、被害状況の把握方法なども掲載しています。

利用者向け (PDF)

Webサイトを利用するかた向けに、フィッシング対策3つの心得、メールやWebサイト、モバイル端末向けの安全対策、具体的な対処法について解説しています。また、フィッシングの被害に遭ってしまった場合の対応方法についても紹介しています。

2025年06月03日 資料公開: 利用者向けフィッシング詐欺対策ガイドラインの改定について

2025年06月03日 資料公開: フィッシング対策ガイドラインの改定について

フィッシング対策協議会「フィッシング対策ガイドライン」
<https://www.antiphishing.jp/report/guideline/>

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

海賊版対策情報
ポータルサイト

01 著作権の
基本と海賊版 02 初めての
「削除要請」
ガイドブック 03 著作権侵害
(海賊版) 対策
ハンドブック 04 教材 05 権利行使
(削除申請等)
支援

よくある
ご質問 相談窓口

初めての「削除要請」ガイドブック

インターネット上の著作権侵害には様々な態様がありますが、インターネット上に自身のコンテンツの海賊版を発見した時に実務上まずよく取られる手段として「削除要請」があります。

削除要請の手順と方法、削除要請通知の作成と送付方法等についてガイドブックとして簡単にまとめていますのでお役立てください。より詳細な内容を確認したい場合は著作権侵害（海賊版）対策ハンドブックを参照してください。

初めての「削除要請」ガイドブック

文化庁「はじめての『削除要請』ガイドブック」
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/kaizoku/singai_guide.html

プロバイダ（レジストラやホスティング事業者）に「どのように伝えると良いか」は、フィッシング対策協議会の「フィッシング対策ガイドライン」、文化庁の「はじめての『削除要請』ガイドブック」を参考にすると良いです。

Report Abuse のためのメール（フォーム文）記述

付録 E－プロバイダーへのテイクダウン要請文例

To whom it may concern,

[簡潔な企業プロフィール].

The website is located at the following address:

<当該フィッシングサイトの URI>

For your information, the fraudulent website appears to be a forgery of this legitimate website:

<正規サイトの URL>

Please take all necessary measures to suspend services of this fraudulent site.

We highly appreciate your cooperation on this matter.

Thank you very much. Sincerely,

--

[担当者、送信者の名前]

[担当者、送信者の所属部署]

[企業名]

[国際電話番号]

[担当者、送信者のメールアドレス]

「フィッシング対策ガイドライン」、「はじめての『削除要請』ガイドブック」に、メール文のテンプレートがあります。

Report Abuse の文面は、これを参考にとすると良いです。

「丁寧なあいさつ」は不要です。
ずばり、要件から書きます。
プロバイダの担当者は、大量のAbuse Report メールを
さばくために、冒頭行を見えています。

冒頭に「発生している問題」「求めることの要旨」、
後半に「その詳細な理由」「確認方法」「主張」のよ
うに、ブロックを分けるのも効果的です。

「消してほしいコンテンツ」の場合はURL, 詳細個所、
正確に一致するテキストも書きます。

フィッシング対策協議会

「フィッシング対策ガイドライン 2025年度版」付録E

<https://www.antiphishing.jp/report/guideline/>

プロバイダに伝える時の考え方や心がけ

プロバイダにドメイン名の停止や、コンテンツの削除を求める場合、どのように伝えると良いでしょうか。次の点を心に留めておくの良いです。

- 苦情は、伝えない限り解決に向かわない、まずは伝えてみる
- ビジネスライクに、プロバイダが対応にあたり必要とする情報、自らの正当性の主張、求める対応を、整理して冷静に伝える
- プロバイダにとっては「お客さま」ではないことを心得ておく
- 即時対応を求めない
- 頑張って英語でコミュニケーションする
- プロバイダの担当者が理解するまで「何度も言ってみる」等、根気よくコミュニケーションする
- ウェブフォームから伝えて応答が悪い場合、フォームの選択肢を替えて（たとえばcopyrightをtrademarkに替えてみるとか…）もういちど連絡してみるのも一案

